



令和4年(確定)及び令和5年(11月末)の労働災害発生状況について

号別	業種別	秋田労働局 (県内)				秋田労働局 (県内)					秋田署管内						
		年合計 (確定)				令和4年		令和5年		前年増減		令和4年		令和5年		前年増減	
		令和3年		令和4年		1月~11月		1月~11月		件数 百分率		1月~11月		1月~11月		件数 百分率	
死亡	休業4日以上	死亡	休業4日以上	死亡	休業4日以上	死亡	休業4日以上	件数	百分率	死亡	休業4日以上	死亡	休業4日以上	件数	百分率		
	全業種合計	7	1,220	14	3,117	12	2,027	12	1,337	-690	-34.0%	4	691	4	475	-216	-31.3%
	うち新型コロナウイルスを除く	7	1,120	14	1,155	12	957	12	946	-11	-1.1%	4	342	4	375	33	9.6%
	うち新型コロナウイルスによる		100		1,962		1,070		391	-679	-63.5%		349		100	-249	-71.3%
1	製造業	2	218	2	321	2	248		191	-57	-23.0%		66		57	-9	-13.6%
2	鉱業 (鉱山法適用を除く)		3						4	4	-					0	-
3	建設業	4	227	8	304	6	269	4	187	-82	-30.5%	3	73	1	59	-14	-19.2%
	土木工事業		73	3	119	2	105	2	58	-47	-44.8%	1	20		19	-1	-5.0%
	建築工事業	3	123	3	117	3	100	2	103	3	3.0%	1	24	1	30	6	25.0%
	鉄骨・鉄筋家屋建築		18		12		10	1	15	5	50.0%				2	2	-
	木造家屋建築	3	77	3	78	3	66		61	-5	-7.6%	1	14		15	1	7.1%
	その他の建設業	1	31	2	68	1	64		26	-38	-59.4%	1	29		10	-19	-65.5%
4	運輸交通業		113		132		112	2	93	-19	-17.0%		45	1	48	3	6.7%
5	貨物取扱業		1		2		1			-1	-100.0%		1			-1	-100.0%
6-2	林業	1	37	2	32	2	28	1	17	-11	-39.3%		1		2	1	100.0%
8	商業		192	1	256	1	203	1	157	-46	-22.7%	1	87	1	72	-15	-17.2%
13	保健衛生業		214		1,801		934	1	510	-424	-45.4%		286	1	150	-136	-47.6%
14	接客娯楽業		52		63		55	1	43	-12	-21.8%		27		22	-5	-18.5%
15	清掃・と畜業		32	1	35	1	31	1	50	19	61.3%		17		30	13	76.5%
	上記以外の事業		131		171		146	1	85	-61	-41.8%		88		35	-53	-60.2%

■建設現場 年末無災害運動を実施中です。

年末は、建設工事現場が繁忙時期に入るとともに、降雪期を迎え作業環境が厳しくもなることに伴って労働災害が増加することが懸念されるため現場の安全配慮が必要です。また、過去にも冬季時の降雨後に発生した土砂崩壊事故のように、天候が影響した多くの自然災害が全国的に発生し、これらの対策を講じた現場の在り方も重要になっています。

このようなことから、秋田労働局では、建設事業者に対し、年末の労働災害発生を防止することを目的に、**12月1日から31日までの期間を、「建設現場 年末無災害運動～令和5年の年末も笑顔で過ごそう～」**と定め、経営トップ・現場管理者及び現場作業員に対し、労働災害防止に向けた指導、周知等を実施しています。

具体的には、経営トップから労働災害防止に関する方針表明を行い、下記を中心とした労働災害防止対策を講じていただくようお願いします。

- 安全衛生管理体制の整備及び安全衛生活動の実施**
(教育の徹底、リスクアセスメントの実施等)
- 墜落・転落災害の防止**
(手すり等の確実な設置、適切な墜落制止用器具の使用等)
- 建設機械・移動式クレーン等災害の防止**
(作業計画の策定、立入禁止区域の明確化、つり荷下の立入禁止等)
- 土砂崩壊災害の防止**
(地山の点検の実施、土止め支保工の設置等)
- 転倒災害の防止**
(冬季転倒災害防止については裏面を参照)
- 交通労働災害の防止**
(適正な労働時間や走行管理、交通法令の遵守等)
- 不安全行動による災害の防止**
(危険軽視の行動を「黙認しない、見逃さない」職場風土づくりの推進等)
- 職業性疾病の防止**
(石綿ばく露防止対策、粉じん防止対策等)



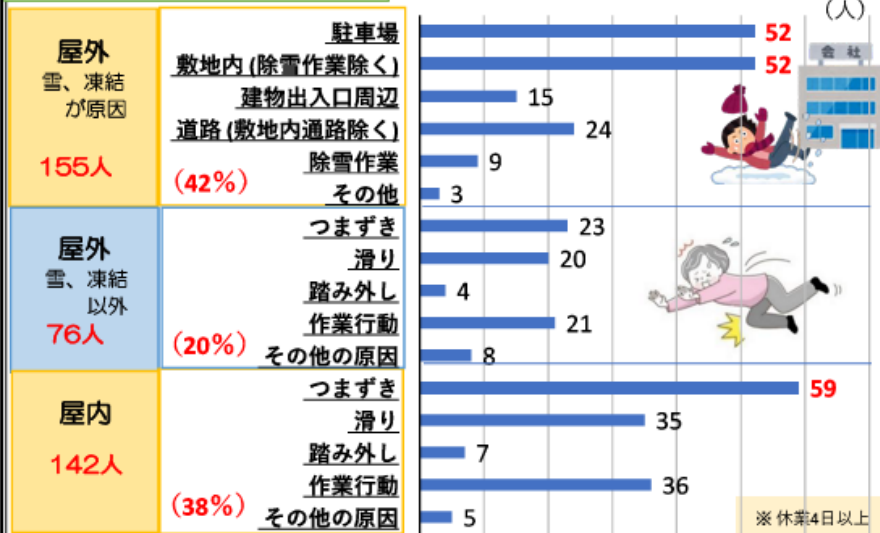
要警戒 冬季の転倒災害!!

屋内での「つまずき」にも注意

「屋内・屋外別」、「発生場所」、「転倒の原因別」(令和4年秋田県内)

転倒災害による被災者数: 373人

0 10 20 30 40 50 60 70 (人)



屋外での転倒災害は62%!! 冬季(12月~3月)の転倒災害は57%、その原因は「雪、凍結」が42%!! そのうち、発生場所が「駐車場」と「敷地内(除雪除く)」が最多! 雪や凍結した通路等で、滑って転倒することを防止するため、除雪・融雪、滑りにくい冬靴の着用、また、足元が十分に確認できるよう照明の確保等を徹底しましょう。

転倒防止 かべ新聞

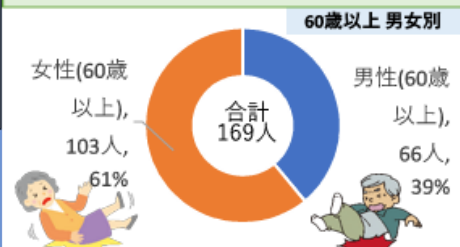


発行: 2023.11 Vol.5
秋田労働局
労働基準部 健康安全課
秋田市山王7丁目1-3

60歳以上の転倒災害の割合は45%



そのうち、女性の割合は61%



高齢女性の転倒リスクは高い!?

中高年齢労働者の転倒災害、特に加齢による骨密度の低下等が顕著な高齢女性の災害発生率が高い状況にあります。整理整頓や段差の解消等といった「ハード対策」のほか、転ばない体づくりなど、個々の労働者の転倒やケガのしやすさへの対応といった「ソフト対策」が重要です。加齢に伴い身体機能が徐々に低下すると、筋力、バランス感覚、瞬発力、柔軟性等が衰え、とっさの反射的防衛動作が素早く行えなくなります。厚生労働省では、転倒災害防止のための「ソフト対策」の導入にお役に立てたくため、以下のようなYouTube動画を配信していますので、是非、取り組んでみてください。

転倒・腰痛予防! 「いきいき健康体操」

全15種類のうち、2種類を紹介!!

1. じっくりスロースクワット

足腰を鍛える運動です。人生100年時代を乗り切るため、毎日行いたい基本体操と言えるでしょう。

両手を前へ出すと、バランスがとりやすくなります。しゃがむ深さは太ももが床と平行になるくらいが目安ですが、ご自分の体力に合わせて行ってください。



チェックポイント

- ✓ 膝とつま先が同じ方向を向いているか
- ✓ 膝がつま先より前に出ず行っているか
- ✓ 沈んだ状態から戻る際に膝を伸ばし切らずに行っているか

2. 骨太かかと落とし

かかとを刺激して骨粗しょう症の予防を目指します。つま先立ちから、かかとをしっかりと落とします。同時に手拍子を打つと、脳の活性化も期待できます。



チェックポイント

- ✓ かかと落としと手拍子がリズムにあっているか

測定目的

歩行能力、下半身の筋力を把握するため、2歩でどれだけ進んだかを測定します。

測定時の注意点

- ・滑りにくい床を選びましょう。
- ・ケガや痛みがある場合は、実施を見合わせましょう。

測定方法

1 両足のつま先をスタートラインに揃えて立ちます。

2 反動をつけずに可能な限り大腿で2歩あるき、2歩目の位置で両足を揃えて立ちます。

3 スタート位置から2歩目のつま先までの距離を測ります。

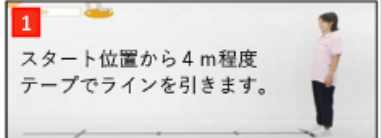
測定結果の見かた

- ・進んだ距離 ÷ 身長 = 結果
- ・結果を評価表に当てはめます。
- ・評価表の数値が「5」に近いほど転倒などのリスクが低い。
- ・特に「2」以下の場合は転倒等のリスクが高く注意が必要です。

転倒リスクを

測定してみよう!!

2ステップテスト



評価	1	2	3	4	5
距離 / 身長	~ 1.24	1.25 ~ 1.38	1.39 ~ 1.46	1.47 ~ 1.65	1.66 ~

次の場合は測定をやり直します。

- ・スタート位置がずれる・バランスを崩して手をついてしまう・ジャンプする
- ・両足で止まれない・歩行動作を止める・足を引きずって立ち上がる

転倒腰痛予防体操

検索

転倒リスク2ステップ

検索



QRコードから動画が視聴できます

